

能登地震の復興支援へ

鋼構造物塗装協と日塗装県支部

県に目録贈呈

新潟県鋼構造物塗装協の若山良夫会長および日本塗装工業会新潟県支部の加藤正支部長は20日、県庁に花角英世知事を訪ね、能登半島地震における被災者に役立ててもらおうと、復興支援金

の目録を贈呈した。この日は鋼構造物塗装協会顧問の高橋直揮県議員も同席。目録を受



花角知事(右から2人目)に目録を渡した若山会長(同3人目)と加藤支部長

け取った花角知事は「気持ちの込もった義援金に感謝します」と頭を下げた。加藤支部長は「全国の会員から北陸ブロックに届けられた積もりに積もったもの」と説明し、若山会長は「我々は社会インフラを未来に引き継ぐことに努めており、生活を支える意味では(義援金も)同じ意味を持つ」と仕事と照らし合わせた。また、高橋顧問は「皆さんの熱の込もった大事な支援を有効活用してほしい」と会員の声を届けた。

県内の被害状況(8月30日現在)は人的被害が54人、住宅被害2万2384棟(全壊108、半壊3902、一部破損1万8360)に上る。